

10代の子どもの読書を考える

大阪府子ども読書活動推進連絡協議会は、今年度、文部科学省の「子ども読書応援プロジェクト」に係る「親子で取り組む読書活動の推進に関する調査研究」事業、「青少年のためのオーサー・ビジット」事業及び「子ども読書応援団派遣」事業を受託して、乳幼児の読書に関わる人たちのネットワークづくりや小学生対象のオーサー・ビジットなどの事業に加え、中学校におけるおはなし会等の開催やオーサー・ビジットを実施して、子どもの読書活動の推進に取り組みました。

このたび、これらの事業報告を行うとともに、中高生に人気の高い作家・花形みつるさんをお迎えし、10代の子どもの読書について考えます。また、子どもの読書活動にかかわる方々のネットワークを広げるための交流会を開催します。

日時：2009年2月26日(木) 13時～16時30分 (12時30分受付開始)

第1部 (13時～13時40分)

大阪府域での子どもの読書活動の報告

- 「乳幼児と絵本」に関する講座 (報告：豊能町立図書館)
- 「オーサー・ビジット：花形みつるさん」
(報告：箕面市立第一中学校・第二中学校)
- 「オーサー・ビジット：田中清代さん」
- 「中学生におはなし・絵本をとどける」
(報告：財団法人 大阪国際児童文学館)

第2部 (13時45分～15時30分)

講演会「10代の子どもの本を書く」

講師：花形みつるさん(作家)

聞きて：土居安子 (財団法人 大阪国際児童文学館)

中高生に人気の高い作家・花形みつるさんに、オーサー・ビジットを実施された感想や思春期の子ども向けの本をどのような思いで書いているのかについてお話をうかがい、10代の子どもの読書について考えます。

第3部 (15時30分～16時30分)

交流会 府域の子ども読書活動にかかわる人たちの交流を深めます。

花形みつるさん (作家)

神奈川県生まれ。1991年『ゴジラの出そうな夕焼けだった』でデビュー。『ドラゴンといっしょ』で野間児童文芸新人賞、『サイテーなあいつ』で新美南吉児童文学賞受賞。

個性的な登場人物がユーモラスに描かれる中に、子どもの現実を浮き彫りにしている。

<中学生向きの主な著作>

『フルメタル・ビューティー』1. 2

講談社 2005年、2007年

『荒野のマーくん』 偕成社 2006年

『アート少女』 理論社 2008年

『Fragile』共著 ポプラ社 2007年他

会場：ホテルアウィーナ大阪 大阪市天王寺区石ヶ辻町19-12

TEL 06-6772-1441 最寄り駅：近鉄上本町駅または地下鉄谷町九丁目駅

定員：150人 (先着順・こちらから連絡がない限りご参加いただけます)

参加費：無料

お申し込み方法

電話、FAX、またはE-mailにて大阪府子ども読書活動推進連絡協議会 (事務局：財団法人 大阪国際児童文学館) に2月16日(月)までにお申し込みください。

(*手話通訳が必要な方も2月16日(月)までにお申し出ください)

お申し込み・お問い合わせ先

(財)大阪国際児童文学館 TEL 06-6876-8800 / FAX 06-6876-8686 / E-mail info@iiclo.or.jp